

# 学びの教室 授業指導案

クラス  
対象年齢：

6 月 1 週目  
作成者： 眞本 千恵

テーマ	拗音(やゆよ)
めあて	拗音(やゆよ)のつく言葉を発音を含めて意識的に学習し、正しく読み書きできるようにする。※生徒に対しては「ねじれる音」と表現する。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
15分	<導入> 語彙を想起する	絵カード	板書No.1	①拗音の絵カードを見て、名前を言わせる。②かえるびよこびよこ、とうなぎ によるよるを最初は一緒に読んで、次にひとりずつ読んでもらう。	①絵カードを見て名前を言う②かえるびよこびよことうなぎによるよるを読む
15分	ひらがなを想起させる		板書No.2	①「いしや」「いしゃ」では、どこが違うか考えさせる。②「びょういん」「びょういん」を読み比べて、どこが違うか考えさせる。	「いしや」「いしゃ」、「びょういん」「びょういん」を読んで意味を考える。
20分	ひらがなを書く	プリント		プリントを使用し、絵を見て拗音を含むひらがなを書いてもらう。	絵をみてことばを読み、拗音の含む言葉を書く。
10分	読み聞かせ			絵本の読み聞かせをする。	お話を聞く

宿題

板書No.1	板書No.2	板書No.3
ねじれたおとあそび； かえるびよこ びよこみびよこびよこ あわせてびよ こびよこむびよこびよこ うなぎ によるよるみによるよる あわせ てによるよるむによるよる	いしや、いしゃ、びょういん、びょうい	

今月の  
家庭学習のポイント

上手に書けたら「褒める」！ことをしてあげてください。余裕があれば拗音や長音の含むことば集めをしてみましよう。

# 学びの教室 授業指導案

クラス  
対象年齢：

6 月 2 週目  
作成者： 眞本 千恵

テーマ	長音のことば
めあて	長音の学習を通じて、長音の正しい発音と正しい表記のしかたを学ぶ。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入> 語彙を想起する	絵カード		長音の言葉の絵カードを見て、名前を言わせる。生徒の声に合わせて手拍子して伸ばす音を意識させる。	絵カードを見て名前を言う。
15分	長音のことばを学ぶ	あいうえおカード	①板書No.1②板書No.2	①「あいうえお」の文字カードを使って「おばさん」→「おばあさん」、「おじさん」→「おじいさん」と変身することを楽しんだり「おね○さん」、「おと○と」と○に入る文字をみんなで考えさせる。②「お」と書いて伸ばす音を音読する。	①言葉を読み、意味の違いや、どんなひらがながはいるか考え発表する。 ②音読する。
25分	長音の言葉を書く	プリント		長音の言葉を意味を考えながら書いてもらう。	長音を含む言葉を書く
10分	読み聞かせ			絵本を読み聞かせる	お話を聞く

宿題

板書No.1	板書No.2	板書No.3
「おばさん」→「おばあさん」「おじさん」→「おじいさん」「おと○と」「おね○さん」	「とおくの おおきな こおりの うえを おおくの おおかみ とおずつとおる。ほおずき こおろぎ ほおのした」	

# 学びの教室 授業指導案

クラス

6 月 3 週目

対象年齢：

作成者： 眞本 千恵

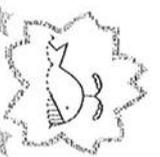
テーマ	反対ことば
-----	-------

めあて	生活の中に出てくる反対ことばを知り、語彙を広げて使えるようにする。
-----	-----------------------------------

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
15分	<導入> 語彙を想起する	絵カード		①絵カードを見て、反対ことばを言ってもらおう。	絵カードを見て反対ことばを言う
15分	反対語を理解する	ひも、石、綿、粘土、チラシなど	①板書No.1 ②板書No.2	①ひもや石など具体物を見せて反対語を考えさせる②上、下、右、左、前、後など対になる反対語を動作を交えて考えさせる。	①反対のことばを言う②動作を一緒にやってみる
20分	反対語を書く	プリント		プリントを使用し、絵を見て反対語を書いてもらう。	プリントを解く
10分	読み聞かせ			絵本の読み聞かせをする。	お話を聞く

宿題	
----	--

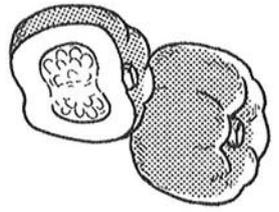
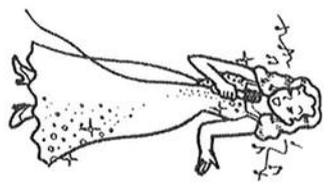
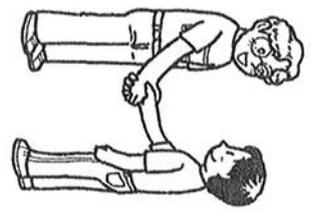
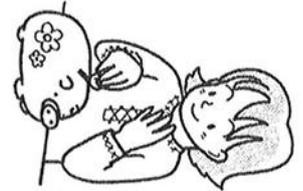
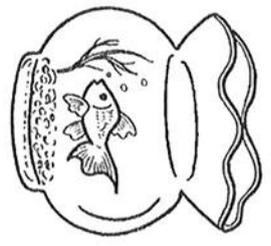
板書No.1	板書No.2	板書No.3
小さい⇔大きい、ひくい⇔高い、細い⇔ふとい、かたい⇔やわらかい、新しい⇔古い、高い⇔安い	上⇔下、右⇔左、前⇔後ろ、強い⇔弱い、明るい⇔暗い	



「ちいさい  
かゆい」

なまえ

えをみて ひらがたて にじばを かきましよう。



し

ち

あ

か

く

し

か

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

ざんりんしゃ

ねんごかき

しやん

かんじのしやん

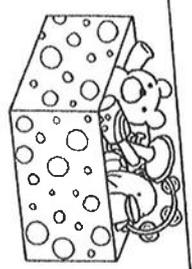
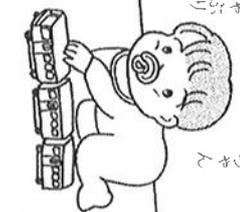
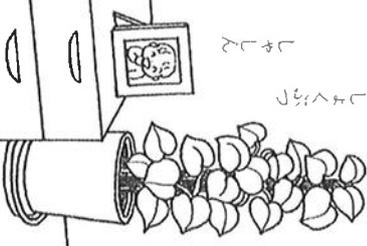
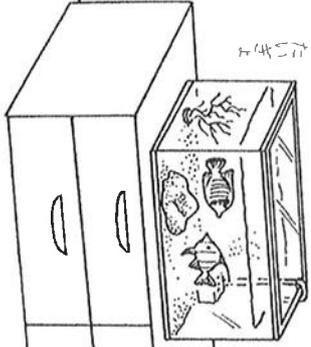
おしゃかり

あかばん

てんしや

しやんしや

あやかしや



かきまじり

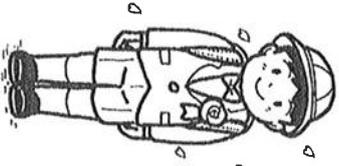
--	--	--	--	--	--	--

かきまじり

--	--	--	--	--	--	--

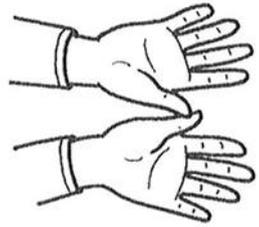


--	--	--	--	--	--

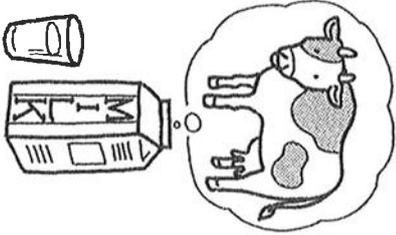


② 下のイラストをたたくかきまじりしよう。

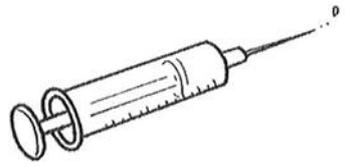
(10×3)



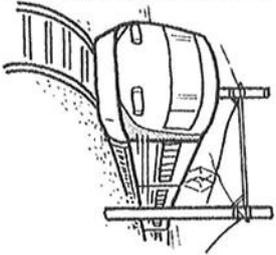
				か
--	--	--	--	---



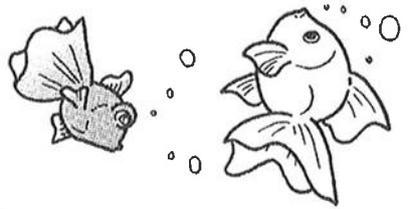
				か
--	--	--	--	---



				か
--	--	--	--	---



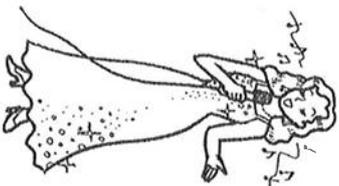
				か
--	--	--	--	---



				か
--	--	--	--	---



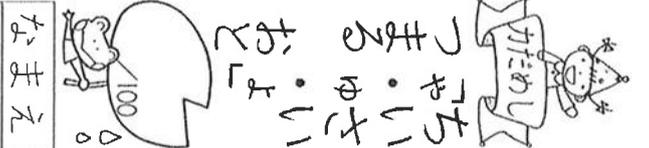
				か
--	--	--	--	---



				か
--	--	--	--	---

① えをみて ひらがなで なまじりしよう。

(10×2)



なまえ

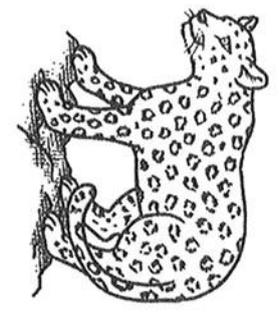
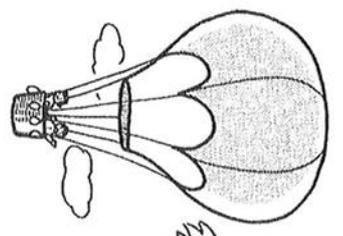
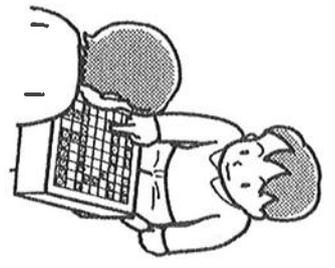
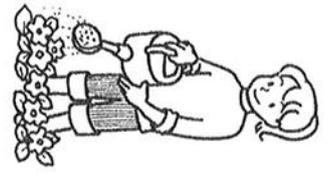
--	--	--	--	--	--	--



なぐれた  
おと (1)

なまえ

えをみて ひらがたて じじばを かきまじしん。



ひ				
---	--	--	--	--

じ				
---	--	--	--	--

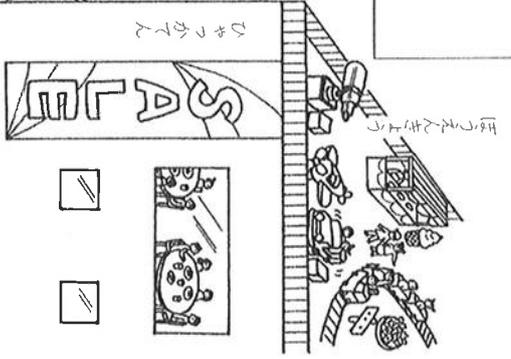
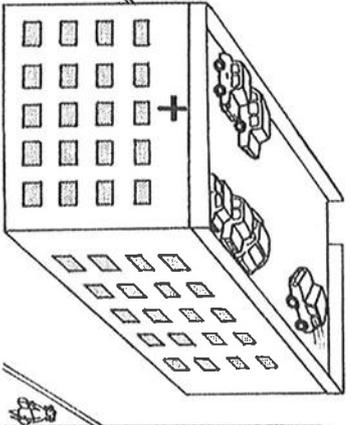
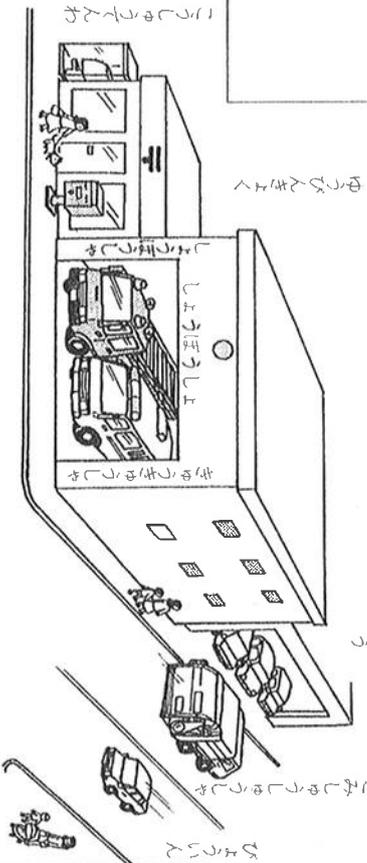
か				
---	--	--	--	--

し				
---	--	--	--	--

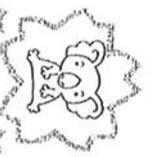
き				
---	--	--	--	--

た				
---	--	--	--	--

ひ				
---	--	--	--	--





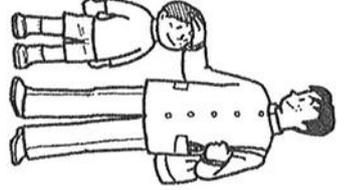


なかいおと(いだん)

あだん(いだん)

なまえ

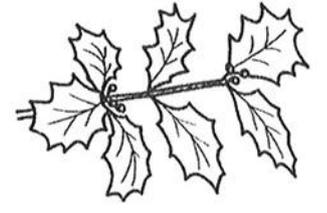
えにあうことばをかきましょう。



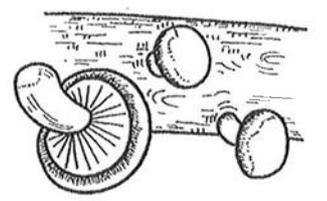
お	い	い		
---	---	---	--	--



お	い	い		
---	---	---	--	--



ひ	い	い		
---	---	---	--	--



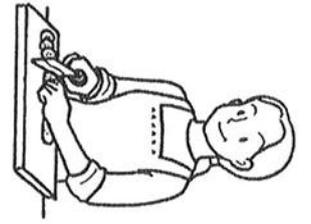
し	い	い		
---	---	---	--	--



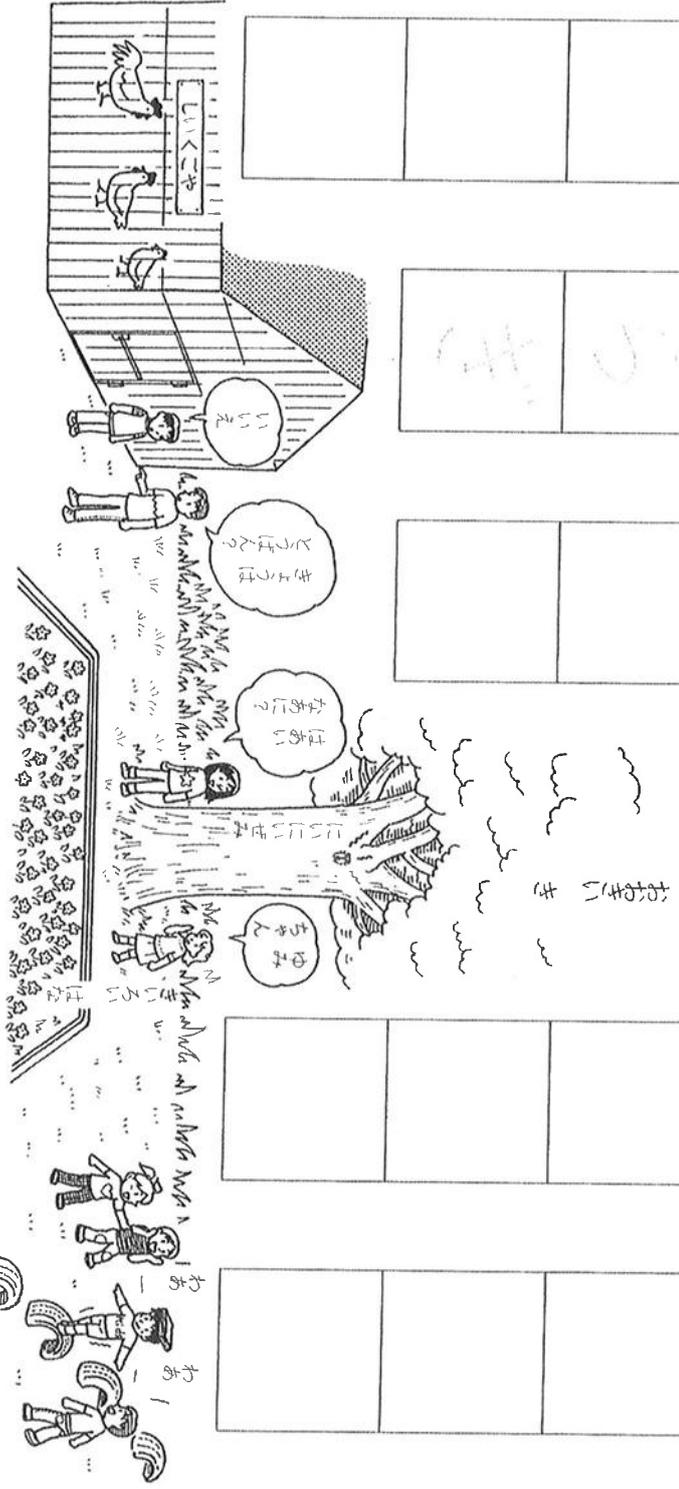
は	い	い		
---	---	---	--	--



お	い	い		
---	---	---	--	--



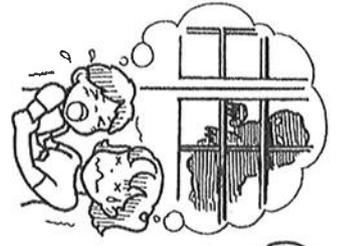
お	い	い		
---	---	---	--	--



おとこ



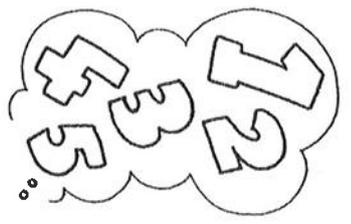
あ	い	う	え	お
---	---	---	---	---



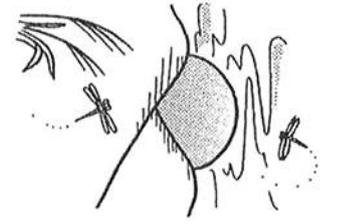
か	き	く	け	こ
---	---	---	---	---



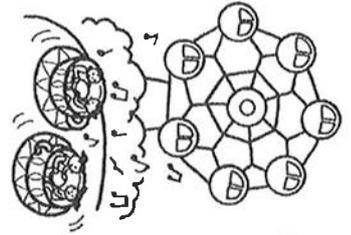
さ	し	す	せ	そ
---	---	---	---	---



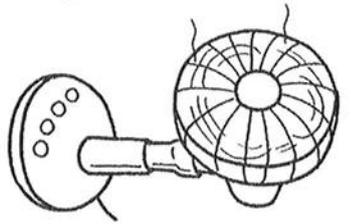
た	ち	つ	て	と
---	---	---	---	---



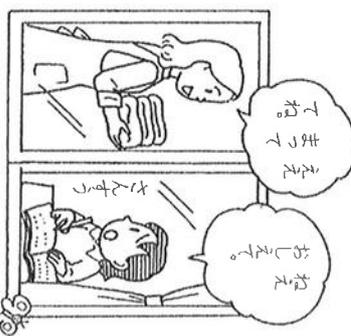
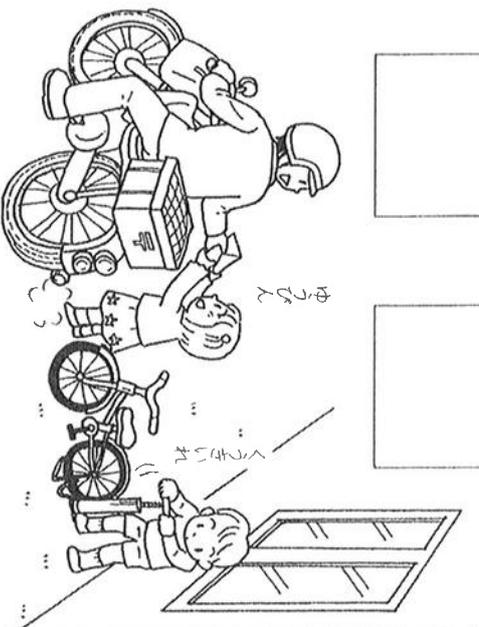
な	に	ぬ	ね	の
---	---	---	---	---



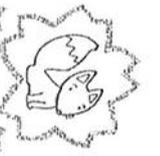
は	ひ	ふ	へ	ほ
---	---	---	---	---



ま	み	む	め	も
---	---	---	---	---



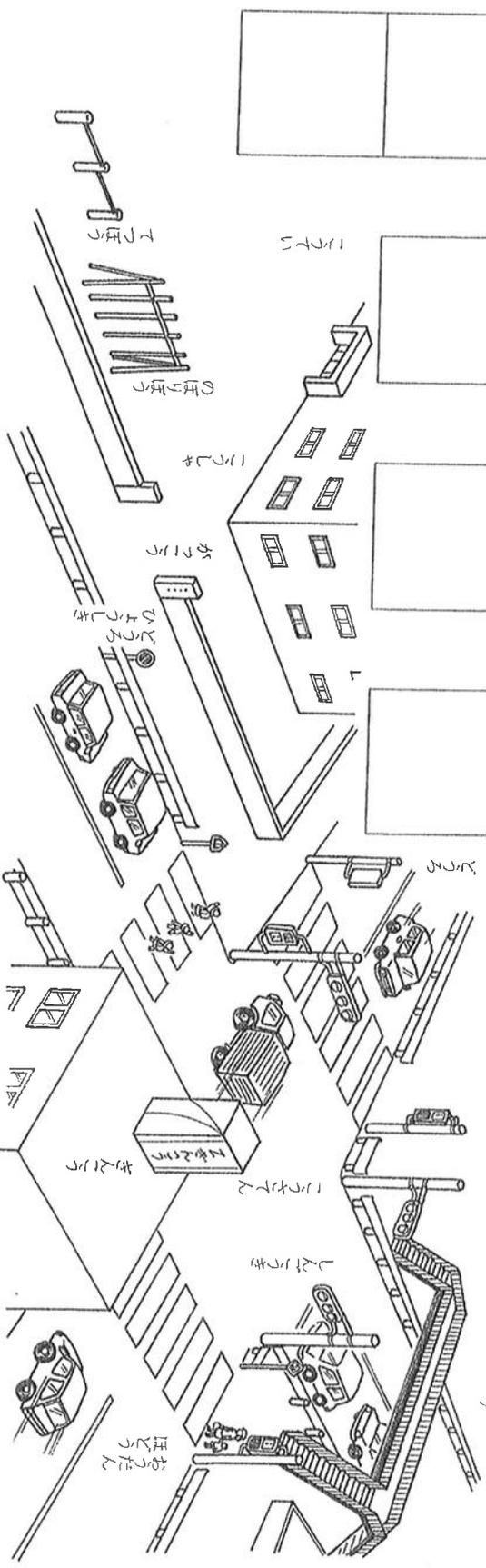
えにあういじばを・かまじしやう。



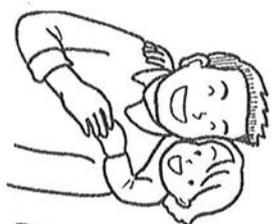
なかにと  
えだん  
うだん

なまえ

--



お	と			
---	---	--	--	--



ひ				
---	--	--	--	--



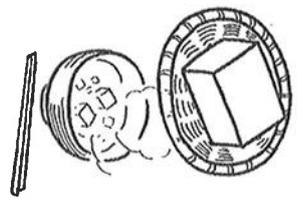
さ				
---	--	--	--	--



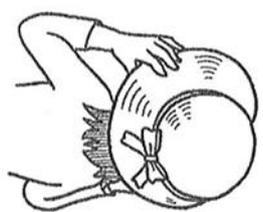
そ				
---	--	--	--	--



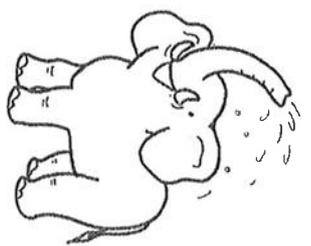
と				
---	--	--	--	--



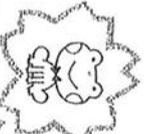
ほ				
---	--	--	--	--



そ				
---	--	--	--	--



えにあつては、おはなさんがおはなさん。



おはなさん (おはなさん)

なまえ

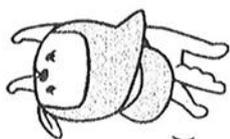




# 5) 反対語の理解

## 1) 反対語①

このことばと はんたいの ことばを 書きましょう。



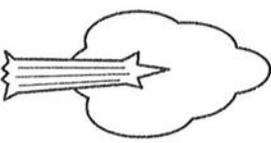
ねずみは 小さい。



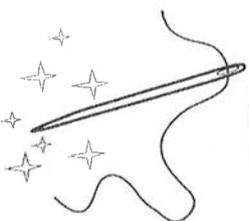
ぞうは



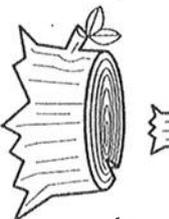
この 木は ひくい。



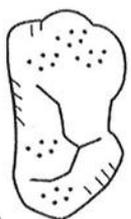
この 木は



はりは 細かい。



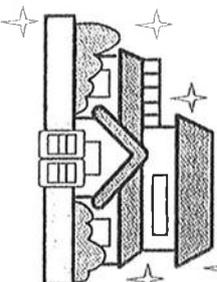
切りかぶは



石は かたい。



わたしは



新しい 家。



家。



高い ダイヤの ゆびわ。



おもちゃの ゆびわ

教材のボ  
「小さい」の反対は「大きい」など、反対のことばを考  
える教材です。難しい場合は、「ねずみは小さい。じゃ  
あ、ぞうは？」などと声をかけてあげましょう。

指  
記  
(できたら)で囲みましょう  
一人で  
できた  
一人で  
できた  
一人で  
できた

# 5 反対語の理解

## 2 反対語②

**教材のポイント**  
 文中のこぼれを、反対のほかに書き換える教材です。  
 音読をしながら進めましょう。

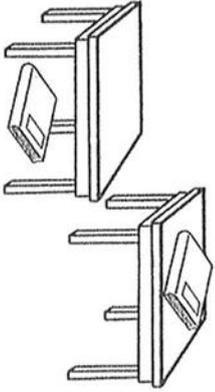
**指導記** (できたら○で囲みましょう)  
 ① 読み  
 ② 書き  
 ③ 読み  
 ④ 書き



兄は

力から

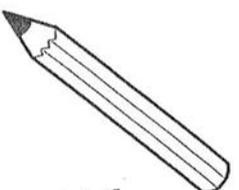
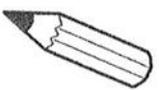
弱い。



つくえの上

に本が

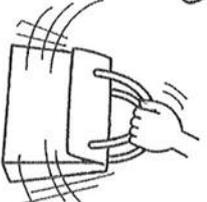
あります。



長い

えんぴつが

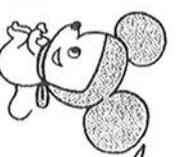
あります。



わたしの

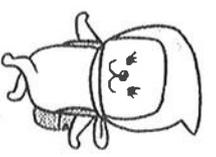
かばんは

おもい。



ことばをかえるだけで、  
 ほんたいのいみになります。

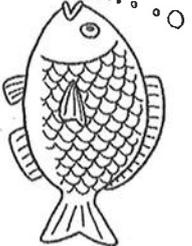
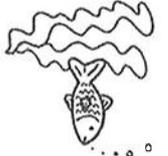
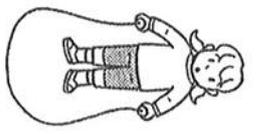
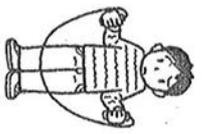
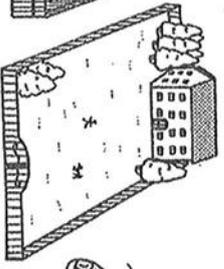
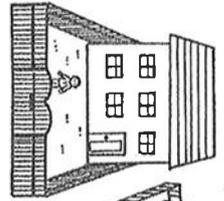
ことばをほんたいのことばに  
 かえて、書きなおしましょう。



月 日 なまえ

★「みんなをいっしょ」★  
 ★なまえ★

なをみてよむかじばをがまじしせん。



--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--	--

--	--	--

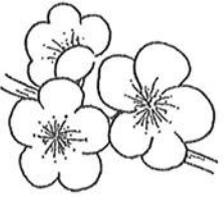
--	--	--	--

--	--	--	--



あざむき

にわ  
 にわ



うすいばな

へんが



あかいはな

へんが

なわとび

なわとび

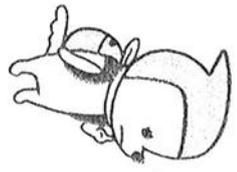
さかな

さかな

--

# 5 反対語の理解

## 3 反対語③

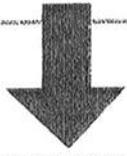
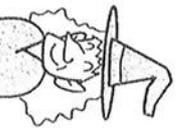


〜の ことばを はんたいの ことばに かえて、手紙を 書きかえましょう。

### 【にせものの 手紙】

たからものの 場しよへ 行くには、  
 まず、森に 入って すぐ 左に まがる。  
 少し 行くと、大きくて 新しい こやが  
 あるので、ドアの かぎを しめて 中に  
 出る。  
 目の 後ろにある かいだんを 上まで  
 のぼる。  
 へやを 明るくして、ぴかぴか 光る はこ  
 を さがす。  
 その 中に、たからものが 少し  
 入って いる。

まほうつかいより



### 【ほんものの 手紙】

Blank lines for writing the real letter.

教材のポ  
にせものの手紙を... のことばを使って書き直す教材です。本当はどんな手紙だったのかを想像しながら、楽しく進めましょう。

描き方 (できたら〇で囲みましょう)

- 描き方 (一人て)
- 描き方 (二人て)
- 描き方 (三人て)
- 描き方 (四人て)

まほうつかいに  
大切な 手紙を  
かえられて  
しまいました。

